

平成24年度京都府ユニットケア施設研修 (ユニットリーダー研修)実施要領

1 目的

本事業は、ユニットケア施設(ユニット型介護保険施設及び一部ユニット型介護保険施設、並びに準ユニットケア加算対象施設またはユニットケアを実施する介護保険施設をいう。(開設又は実施が確実な施設を含む。以下同じ。))の職員に対し、ユニットケア(居宅に近い居住環境の下で、居宅における生活に近い日常生活の中で行われる生活単位と介護単位とを一致させたケアをいう。以下同じ)に関する研修を実施することにより、ユニットケア施設が入居者又は利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、入居又は利用前の居宅における生活と入居又は利用後の生活が連続したものとなるように配慮しながら、入居者又は利用者が自立した日常生活を営むことを支援することを目的とする。

2 実施主体 京都府、一般社団法人京都府老人福祉施設協議会

3 研修対象者(約35名)

(1) 要件

- ① ユニットケア施設に勤務している職員又は勤務する予定の職員であって、各ユニットにおいて指導的役割を担う者。
- ② 平成24年度又は25年度に開設するユニットケア施設(既に京都府と協議を行っている等開設が確実)に勤務する職員であって各ユニットにおいて指導的役割を担う者。

(2) 研修内容等 別紙の通り

(3) 研修期間等

講義・演習(3日間)＋施設実習(5日間)＋フォローアップ研修(2日間)の全10日間とする。

① 講義・演習

- | | | | |
|------|----------|----------|---------------------|
| 第1日目 | 平成24年 | 9月11日(火) | 京都テルサ東館2F中会議室 |
| 第2日目 | 平成24年 | 9月12日(水) | 京都テルサ東館2F中会議室 |
| 第3日目 | 平成24年10月 | 6日(土) | 舞鶴市西駅交流センター(JR西舞鶴駅) |

② 施設実習

- ◆日時 平成24年10月15日～平成24年11月16日の間に5日間。
- ◆実習施設 (追ってお知らせいたします)
- ◆スケジュール等
 - 期間内に上記の1施設で連続5日間分の実習とする。
 - 各施設の受入れ人数の関係で、実習日程を調整する。

③ フォローアップ研修

- ◆日時 平成25年2月21日(木)～2月22日(金)
- ◆会場 京都社会福祉会館4階大会議室(詳細は11月頃に案内の予定)

4 修了証

研修の全科目を受講した者に対し、京都府知事の修了証を交付する。

5 留意事項

(1) 参加方法

① リーダー研修に参加する施設の管理者等の要件は以下のとおり

(1) 下記の研修修了者(本年度受講予定含む)が現に管理者をしている。

ア. 平成15～22年度の認知症介護研究・研修東京センターの管理者研修

イ. 一般社団法人日本ユニットケア推進センターの管理者研修

ウ. 平成15～23年度の京都府実施の管理者研修

(2) 現任の管理者が上記の管理者研修を受講していない場合は、管理者が、ユニットリーダー研修1日目の講義等をオブザーバーとして受講する(修了証はできません)ことで、本研修への参加を認めることとします。

② 原則として1施設から2名まで参加できることとするが、申込者が定員を超えた場合は調整する。2名申込みの施設は、申込書に優先順位を記載すること

③ 研修参加者は全日程に参加すること。

(2) 下記の課題提出が修了要件です。(提出期限及び記入様式等は別途通知)

① 研修開始前 ア. 事前提出課題①+施設平面図

イ. 事前提出課題② ※ア・イいずれも8/30に提出

- ② 第3日目
 - ア. ユニットケア導入・運営計画書（当日提出）
 - イ. 施設長とユニットリーダーの対話シート（リーダーが参加している施設の管理者全員 期限は後日連絡）
 - ウ. 入居者体験レポート
- ③ 施設実習
 - ア. 実習報告書（リーダー）
- ④ フォローアップ研修
 - ア. 導入・運営計画進捗状況（リーダー）
 - イ. 改善プロセスシート（リーダー）

(3) 本研修受講生への支援について（施設長等の皆様へのお願い）

本研修は、講義・演習（3日間）＋施設実習（5日間）＋フォローアップ研修（2日間）と約半年間をかけての長丁場の研修であることに加え、期間中、ユニットケア導入運営計画書の作成・実施・評価等、多くの課題に取り組んでいただく必要があり、受講生にとって大変厳しい内容となっています。

つきましては、各施設の施設長様をはじめ中間管理職等の皆様に以下の点にご留意いただき、受講生が本研修の中で貴施設の代表として主体的に取り組むを進めていくことができますよう、受講生への支援をお願い致します。

- ① 本研修に参加する目的について、事前に受講生に十分説明を行って下さい。
- ② 2日目修了後、3日目までの間に、必ず面談の機会をつくっていただき、研修内容の報告や貴施設におけるユニットケアの今後の取組の方向性などについて話し合ってください。それらの内容を「施設長とユニットリーダーの対話シート」として提出していただきます。
- ③ ユニットリーダーとともに「ユニットケア導入運営計画書」を作成してください。（リーダーが作成した計画を施設の計画として共有化し、実施にあたって、リーダーと管理者の役割分担を行ってください）
- ④ フォローアップ研修までに、「ユニットケア導入・運営計画書」の実施状況について、リーダーと評価する機会を作ってください。

以上、大変ご多忙とは思いますが、本研修の目的達成のためにご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

7 受講費用等

- (1) 受講者は、研修資料費、施設実習費の一部として、受講決定通知後速やかに次の金額を指定の銀行口座に振込むこと。（受講料には研修期間中（ユニットリーダー研修の施設実習を除く）の昼食代を含んでいます。）

◆ユニットリーダー研修受講料

①京都府老人福祉施設協議会会員施設 55,000円

②会員以外の施設 65,000円

◆1日目のオブザーバー参加（管理者） 5,000円

◆懇親会参加費（1人） 5,000円

※懇親会（情報交換会）は研修1日目の9月11日の講義終了後に、京都テルサ内レストラン朱雀で行う予定です。参加者の交流を促進し、本研修の演習をスムーズに進める観点から、特段の理由のない限り、ご参加いただきますようお願い致します。

(2) 研修テキスト

本年度よりテキストが新しくなったため、参加者全員が購入すること。研修初日に受付にて販売するので、受講申込書に購入冊数を記入してください。

◆書名 ユニットケア研修テキスト ～施設運営の4つのポイント～

◆編集 一般社団法人 日本ユニットケア推進センター

◆価格 2,940円（税込み）

(3) 研修会場への交通費、宿泊費は、受講者負担となります。施設実習期間の食費は、各実習施設に直接支払うこと。

(4) 本研修の参加に関して、宿泊施設の斡旋紹介は行いませんのでご了承下さい。

8 受講申込み

受講希望施設は、別紙申込書に必要事項を記入し、8月10日（金）までに、京都府老人福祉施設協議会事務局（Fax 075-802-4699）までファックスでお申込み下さい。受講要件を確認の上、受講決定を行い8月21日（火）に受講者に通知します。希望者多数の場合、受講をお断りする場合がございますのでご了承下さい。

9 問合せ

内容等に関するお問合せは、下記へお願いします。

◆ 齊藤裕三 特別養護老人ホーム神の園

（TEL：0774-94-4125 Email：kaminosono.sy.1965@jewel.ocn.ne.jp）

◆ 京都府老人福祉施設協議会 事務局

（TEL：075-802-4642 Email：furoukyo@mpd.biglobe.ne.jp）

(別紙)

【平成24年度 ユニットリーダー研修】

月日	時間・形式	テーマ	ねらい	講師等
9月11日 (火)	9:30～	開講式 オリエンテーション		京都府 府老協
	10:00～ 12:00 (120分) 講義・演習	ユニットケアの理念と意義 ～ユニットケア導入・実践 の課題～	個別ケアを推進する一手法であるユニットケアの理念・意義について学ぶ。また、ユニットケア実践における工夫や課題について学ぶ。	特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代表 武田 和典氏
	13:00～ 16:30 (210分) 講義・演習	高齢者の生活とその環境	高齢者の生活を支える環境(居住)について、家庭的・心理的に安定が得られる環境の作り方について学ぶ。	大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授 三浦 研 氏
	16:30～ 17:40 (70分) 講義・演習	ユニットケア実践の課題と工夫Ⅰ(ユニットケアの導入・実践におけるリーダーの役割)	ユニットケアの導入から現在までの経緯や運営上の工夫及び課題等を振り返りながら、ユニットケア実践のためにリーダーとして必要な知識、リーダーシップ、職員間の連携等の方法について学ぶ。	山口奈緒美氏 (はぎの里) 研修委員
	18:30～ 20:00	懇親会 (情報交換会)		
9月12日 (水)	09:00～ 16:30 (390分) 講義・演習	ユニットケア実践の課題と工夫Ⅱ	①自分の住まいと思えるような環境作り(ハード)②入居者の暮らしの継続と支援方法(ソフト)③入居者の暮らしを支える仕組み(システム)をテーマとして、実践事例から、課題や具体的な導入・実践方法を学ぶ。ポイントごとに話を展開し自施設の悩みや課題を整理し、導入運営計画が立案できるようにする。	特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代表 武田 和典氏 小巻和正氏(丹後園) 松尾隆昭氏(神の園) 大槻直史氏 (第二松寿苑) 研修委員
10月6日 (土)	9:30～ 16:30 (360分) 演習	ユニットケア実践の課題と工夫Ⅲ	自施設で作成したユニットケア導入運営計画書について、グループ討議を行い、課題や工夫等について検討する。	特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代表 武田 和典氏 研修委員